

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
3	1	全般	【地方創生推進会議】 外国人が徐々に増えてきており、労働力や消費力さらには人口の維持等に参画してることが見込まれるので、外国人についてもう少し明記してもいいのではないか。	P28 13行目 人口の将来展望の記述として、次の文章を追加しました。 なお、コロナ禍以前では全国的に外国人の入国超過数の増加が進んでおり、社人研による我が国の将来推計人口では、将来的に外国人が総人口の約1割を占めるようになることが見込まれています。こうした状況は本市においても同様に生じることが予想され、外国人市民のさらなる増加が社会増減の均衡に寄与することが期待されます。
3	2	p. 1 3 段落 目	【地方創生推進会議】 また、… 主語「本ビジョンは、」を入れればどうか 「整合性を保つ」の目的語を入れればどうか	次のとおり修正しました。 6行目 【旧】また、竹原市デジタル田園都市国家構想～ 【新】また、本ビジョンは、竹原市デジタル田園都市国家構想～ 7行目 【旧】～基礎となるものと位置付け、整合性を保った～ 【新】～基礎となるものと位置付け、当該総合戦略との整合性を保った～
3	3	p. 1	策定委員会により修正	6行目 【旧】(以下「第3期総合戦略」という。) 【新】削除
3	4	p. 5	【地方創生推進会議】 グラフの軸は「▲700」を下にすべきではないか。p.6のグラフはそうになっている。	図2-6を修正しました。
3	5	p. 16	【地方創生推進会議】 念のため「昼間人口」と比較すればどうか	策定支援を依頼している業者に、追加分析を依頼しました。 分析結果について、庁内における今後の課題分析に活用してまいります。

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
3	6	p. 27	策定委員会により修正	<p>現状趨勢を反映した将来人口について、一の位を四捨五入し、十人単位で表示することとしました。</p> <p>下から3行目  <b>【旧】</b> 令和7(2025)年 22,406人  <b>【新】</b> 令和7(2025)年 22,410人</p> <p>下から2行目  <b>【旧】</b> 令和10(2028)年 20,788人  <b>【新】</b> 令和10(2028)年 20,790人</p> <p>下から2行目  <b>【旧】</b> 令和27(2045)年 12,877人  <b>【新】</b> 令和27(2045)年 12,880人</p> <p>下から2行目  <b>【旧】</b> 令和42(2060)年 8,085人  <b>【新】</b> 令和42(2060)年 8,090人</p>
3	7	p. 28	<p><b>【地方創生推進会議】</b>                      21,748人→1の位まで表示すべきか要検討</p>	<p>目標人口については、一の位を切り上げ、十人単位で表示することとしました。</p> <p>10行目  <b>【旧】</b> 21,748人  <b>【新】</b> 21,750人</p> <p>24行目  <b>【旧】</b> 10,100人  <b>【新】</b> 10,130人</p>
3	8	p. 28 ②	策定委員会により修正	修正6、修正7を踏まえ、資料のとおり修正しました。

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
3	9	p. 29	策定委員会により修正	修正6、修正7を踏まえ、図3-3を資料のとおり修正しました。

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
4	1	全般	【地方創生推進会議】 「デジタル」に関する記述が弱いのではないか	次の各項目の「竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略の主な施策」の内容を資料のとおり修正しました。 基本目標1 ・仕事づくり 「1 創業支援の充実と産業振興の促進」 「2 雇用の確保と多様な働き方に対応した環境づくりの推進」 基本目標2 ・移住・定住の促進 「1 交流人口・関係人口の創出及び拡大」 「2 移住・定住の促進」 基本目標3 ・結婚、出産を希望する人への支援 「希望する人が結婚・妊娠・出産できる環境づくりの推進」 ・出産前・出産後の支援 「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の充実」 ・子育て支援 「子育て環境の充実」 基本目標4 ・地域力の強化 「1 健康まちづくりの推進」 「2 地域を支え活躍する多様な人材の育成」

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>「1 歴史・文化を活かしたまちづくりの推進」</li> <li>「2 誘客の基盤・仕掛けづくりの推進」</li> </ul> </li> </ul>
4	2	p. 1	策定委員会により修正	<b>【旧】</b> 1 竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略（案） <b>【新】</b> 1 竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定にあたって
4	3	p. 1 (1) 1段落目	<b>【地方創生推進会議】</b> 文章が長すぎるので、分かりやすくできないか。	<b>【旧】</b> ～平成26年11月に施行し、「東京一極集中の是正」～ <b>【新】</b> ～平成26年11月に施行しました。そして、「東京一極集中の是正」～
4	4	p. 1 (1) 上から 5行目	策定委員会により修正	<b>【旧】</b> 「地域の特性に即した地域課題」の解決 <b>【新】</b> 「地域の特性に即した地域課題の解決」
4	5	p. 2 図	<b>【地方創生推進会議】</b> 計画との関係を示したチャートがありますが、総合基本計画では前期と後期をつなげる、それからデジタル総合戦略については、現行の第2期総合戦略を発展的にデジタルで継承するというような横のつながりのほうが、分かりやすいのではないか。	資料のとおり修正しました。
4	6	p. 4 4	策定委員会により修正	<b>【旧】</b> 4 目標の設定 <b>【新】</b> 4 目標の設定について
4	7	p. 4 4 (1)	<b>【地方創生推進会議】</b> 全体目標の21,748人を1の位まで記載すべきか要検討	<b>【旧】</b> 21,748人 <b>【新】</b> 21,750人

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
4	8	p. 4 (2) ②	策定委員会により修正	【旧】雇用を確保し、産業を活性化させることで賑わいをつくる 【新】産業を活性化させることで賑わいをつくる
4	9	p. 5 5	策定委員会により修正	【旧】5 施策の方向 【新】5 施策の方向について
4	10	p. 5	策定委員会により「5 施策の方向について」の基本目標1を修正	【旧】雇用を確保し、産業を活性化させることで賑わいをつくる 【新】産業を活性化させることで賑わいをつくる
4	11	p. 6	策定委員会により基本目標1を修正	【旧】雇用を確保し、産業を活性化させることで賑わいをつくる 【新】産業を活性化させることで賑わいをつくる
4	12	p. 6	策定委員会により数値目標を修正	【旧】人口に対する個人の市町村民税の納税義務者数の割合 【新】人口に対する個人の市町村民税の納税義務者数の割合（※年金所得者は除く）
4	13	p. 6	策定委員会により「基本的方向」を修正	資料のとおり修正しました。
4	14	p. 7 (2)	策定委員会により修正	【旧】③企業立地の促進 【新】③企業誘致の促進
4	15	p. 9 (2)	策定委員会により修正	「②すべての人が活躍できる環境づくりの促進」を追加

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
4	16	p. 12	<p>【地方創生推進会議】 空き家バンクの年間の成約件数と成約率を 教えてほしい。 また、空き家バンクの手続きについて、オン ラインの導入は可能か。</p>	<p>成約件数は年度によりばらつきはありますが、近年の平均は年 12 件 で、相談数に対する成約率は3割前後、登録数に対する成約率は7割前 後です。空き家バンクは、売買がメインとなり金額が大きいこと、中古 物件で現物確認が必要になることから、現地に来て判断したい方が多い です。市としては、コストに見合った効果と購入後のトラブル防止の観 点からオンライン導入は現時点では様子をみたいと考えております。 マッチング率を高める取組として購入者のニーズが高い『海が見える物 件』、『畑がある物件』の登録促進を行い、成約数を増やしてまいりま す。</p>
4	17	p. 12	策定委員会により修正	<p>【旧】 移住定住サポートセンターを通じた移住者数【累計】 【新】 移住者数（市の施策を活用したもの） 【旧】 現在値 0人 【新】 現在値 19人</p>
4	18	p. 14	策定委員会により修正	<p>【旧】 68件 【新】 67件</p>
4	19	p. 15 (1)	策定委員会により修正	<p>【旧】 68件 【新】 67件</p>
4	20	p. 16	策定委員会により修正	<p>【旧】 たけっこダイアリー（母子手帳アプリ）の妊婦及び就学前の乳幼 児の 登録率（%） 【新】 たけっこダイアリー（母子手帳アプリ）の妊婦及び就学前の子供 の登</p>

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
				録率 (%)
4	2 1	p. 16	「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の充実」の重要業績評価指数【KPI】の「たけっこダイアリー（母子手帳アプリ）の妊婦及び就学前の子供の登録率（%）」の目標値を高く設定するべきではないかと策定委員会により指摘があり、修正	【旧】 50.0% 【新】 71.4%
4	2 2	p. 18	【地方創生推進会議】 基本目標4の数値目標のうち、観光消費額の目標数値が高めに設定されているが、達成可能なのか。今までやっていない取組を盛り込んでいくことが必要なのではないかと感じる。	観光消費額については、コロナ禍においても、高単価なゴルフ場の利用増、イベント復活等で、増加傾向となっています。 現在、（一社）竹原観光まちづくり機構において、竹原市観光振興計画の推進にあたり、具体的な行動計画となるブランディング戦略を策定しているところです。なお、策定にあたっては、竹原ブランドの形成について、幅広い関係事業者等を集め、ワークショップ等を行いながらまとめていきます。今後、様々な事業者と連携しながら、ブランディングによる付加価値をつけ、消費単価の増を図るなど、諸事業に戦略的に取り組んでいくことで、観光消費額の増を目指します。
4	2 3	p. 22	策定委員会により修正	【旧】 「地域や子供会などの～児童生徒の割合【県調査】」 【新】 「「地域や子供会などの～児童生徒の割合【国調査】」
4	2 4	p. 22	「地域や子供会などの行事に参加している」と答えた児童生徒の割合【国調査】の現在値と目標値を策定委員会により修正	【旧】 現在値：60.6%、目標値：75% 【新】 現在値：69.8%、目標値：80%

令和5年度第2回竹原市地方創生推進会議以降の指摘事項等に対する人口ビジョン案と戦略案の修正箇所等

資料 No.	修正 No.	資料頁	指摘事項及び修正要因	修正内容等
4	25	p.22	策定委員会により修正	<p>【旧】 「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童生徒の割合【県調査】</p> <p>現在値 (R5) : 89.9% (R5) 目標値 (R10) : 92%</p> <p>【新】 削除</p>
4	26	p.25	策定委員会により重要業績評価指数【KPI】を修正	<p>【旧】 文化4施設（旧森川家住宅・旧松阪家住宅・旧光本家住宅・歴史民俗資料館）入館者数</p> <p>現在値 (R4) : 25,000人 目標値 (R10) : 25,000人</p> <p>【新】 文化4施設（旧森川家住宅・旧松阪家住宅・旧光本家住宅・歴史民俗資料館）活用（イベント、企画展示等）延べ日数</p> <p>現在値 (R4) : 321日 目標値 (R10) : 370日</p>